



市長に寄せられた 市民の声

まちづくりに生かす市民の声

市では、皆様のご意見やご要望である「市民の声」をお聴きし、まちづくりへの反映に努めています。

問い合わせ 広報広聴課（市庁舎3階、☎65・4109）

令和2年度は、「市長への手紙」や「陳情・要望」などを通じて、市民福祉部門や、都市環境部門、経済部門に多くの市民の声が寄せられました。（表1・2）

市長への手紙



昨年度に寄せられた意見と回答の一部をお知らせします。なお、内容は、意見が寄せられた時点のもの です。

声① ポイ捨てによる、雪解け後の河川やまちなかでのごみが目立つため、対策をしてほしい。

回答① 市では、環境美化に対する市民一人ひとりの意識の高まりが大切であると考え、「自分たちのまちは、自分たちの手で美しく」というコンセプトのもと、行政がサポートしながら、地域住民や地元企業を中心に、まちの清掃・美化活動を進めています。また、町内会を通じたチラシの配布や、各団体が行う環境に関するイベントを支援するなど、まちを美化する意識啓発にも取り組んでいます。

河川に関わる具体的な取り組みとして、毎年5月の第2日曜日に、

市内河川の一斉清掃を帯広市町内会連合会とともに実施しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施できませんでしたが、令和元年度は約3500人の地域住民にボランティアとしてご参加いただきました。こうした取り組みを通して、今後も生活環境の保全を図ってまいります。

（担当） 環境課、市庁舎6階、☎65・4135

声② スマートフォンを活用した健康マイレージ事業に、参加できない高齢者などに向けた企画を考えてほしい。

回答② 市では、健康マイレージ事業のほかにも、65歳以上の人を対象に、無理のない運動や体操、レクリエーションなどを行う「げんき活動コース」をコミセンや福祉センターで開催しており、「チャレンジデー」として気軽に参加できる体験日も設けています。また、介護予防に取り組む団体などの自主活動の場に、活動支援者を派遣する事業も行っています。

今回いただいたご意見も参考に、今後も、それぞれの年代が運動に

参加・継続しやすい事業を実施しながら、健康づくりの取り組みを幅広く進めてまいります。

（担当） 健康推進課、東8南13、保健福祉センター内、☎25・9721

参考 「健康マイレージ事業」については、広報おびひろ7月号9頁を、「げんき活動コースチャレンジデー」については、今月号の13頁をご覧ください。

▲7月号

表1 「市民の声」の受理方法別件数

受理方法	件数	比率
市長への手紙	285	24.9%
陳情・要望	738	64.5%
市長との懇談会（市民トーク・ティーディング・おじゃまします）	19	1.7%
その他（電話・Eメールなど）	102	8.9%
合計	1144	100.0%

表2 担当部門別「市民の声」

担当部門	件数	比率
政策推進	72	6.3%
総務	132	11.5%
市民福祉	344	30.1%
経済	174	15.2%
農政	43	3.8%
都市環境	230	20.1%
合計	1144	100.0%

※比率の端数調整はしていない。

✂キリトリセン

●手紙用紙を紙面から切り離してお使いください

①キリトリセンに沿って切り離し、手紙を書く
②二つ折りにし、のりしろ部分を貼り合わせて投函

山折

080-8790

料金受取人払郵便
帯広局承認
522
差出有効期間
令和5年3月31日
まで（切手不要）

帯広市長行

帯広市西5条南7丁目1番地

✂キリトリセン